



収穫間近の圃場



田植えの様子



稲刈りの様子

概要

事業実施主体	千葉市営農型太陽光発電モデル事業検討協議会 (千葉県千葉市)
発電出力	49.5kW (AC) / 79.2kWp (DC)
発電電力量	約90,000kWh/年
発電設備下部の農地	13a (水稲)
建設費	1,900万円
運転開始時期	令和7年5月

特徴

- 千葉市において初となる水稲による営農型太陽光発電の取組事例。営農を担う石橋農園は、農産物の価格変動等の影響から農業の継続に不安を感じる中で、農業を継続しながら地域の脱炭素にも寄与できる取組として、営農型太陽光発電の協業を決意した。
- 元々所有するトラクターやコンバイン等が通れる高さや回転できるスペースを確保するなど、営農者と発電事業者が打ち合わせを重ねて、農作業に極力影響がないように工夫した。
- 発電された電気は、小売電気事業者を通じて千葉市内の公共施設に供給している。
- 販売ルートが確立しているもち米「ふさのもち」を栽培し、収量の減少はほとんど見られず、品質も同地区で栽培されているものと同等程度となっている。
- 作業効率は設備が設置していない圃場と比べると下がるものの、太陽光発電事業者から営農者に営農協力金が支払われ、農業経営の安定に寄与している。

収支 < 千葉市営農型太陽光発電モデル事業検討協議会・千葉県千葉市 >

